

審議会等会議録

(敬称略)

会議の名称	令和3年度第2回加須市在宅医療・介護連携推進委員会（書面審議）
開催日時	【書面審議通知日】 令和4年3月14日（月） 【議決日（書面決議日）】 令和4年3月31日（木）
開催場所	—
議長氏名	福島祐一
出席委員	【書面審議を通知した委員】 加藤誠、福島祐一、武正寿明、湯橋崇幸、川俣和美、篠崎浩之、 松村卓哉、増田幸樹、石川誠一、渡邊英治、青木吉次、石川雄一、 平井喜一朗、尾高幸江、小谷野優子、木村美喜、野呂牧人、 中島謙悟、太野貴宏、中村未央、橋本将来、田崎博己、田沼佐知子、 小野寺俊、佐藤政代、渡辺正男、栗原智之、国分菜穂子、増田英夫、 但木則夫
欠席委員	—
会議次第	1 報告事項 （1）北埼玉在宅医療連携室における相談対応の状況について （2）令和3年度在宅医療・介護連携推進事業研修会について （3）令和3年度における高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（いきいき長寿保健事業）について 2 審議事項 （1）「人生会議」の普及啓発について （2）地域における「看取り」の実施状況等の把握について
会議資料の名称	資料1-1 北埼玉在宅医療連携室における相談対応の状況について 資料1-2 北埼玉在宅医療連携室における主な相談対応事例（令和3年4月～令和4年1月） 資料2-1 令和3年度在宅医療・介護連携推進事業研修会について 資料2-2 令和3年度在宅医療・介護連携推進事業研修会チラシ 資料3 令和3年度における高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（いきいき長寿保健事業）について 資料4-1 「人生会議」の普及啓発について 資料4-2 「ACP普及啓発講師人材バンク登録制度」事業について 資料4-3 加須市のブロンズ会議 資料5 地域における「看取り」の実施状況等の把握について
会議の公開又は非公開の別	公開

傍聴者の数	—
説明者の職・氏名 (書面回答対応者)	福祉部高齢介護課長 山岸弘通、同課主査 萩原宏和 健康医療部いきいき健康長寿課長 荒井幸子、同課主幹 栗原香、 同課主任 川田絵美子
事務局職員職・氏名	同上
会議録の作成方法	要点記録
その他必要な事項	なし

発言者	会議の内容(発言内容、審議経過、決定事項等)
野呂牧人委員	<p>1 報告事項</p> <p>【書面による意見等】</p> <p>(1) 北埼玉在宅医療連携室における相談対応の状況について 北埼玉在宅医療連携室の相談機能の状況が分かって良かった。その後の経過も分かるとより良いと思う。</p>
事務局回答	<p>北埼玉在宅医療連携室に寄せられた相談については、相談者に助言や提案を行い完結するものが多数を占めていますが、中には、継続的な支援を要する困難事例もあります。このような事例については、対応の経過や結果について、翌年度の本委員会にお示しし、在宅医療・介護関係者の皆様と情報共有を図ることができると考えています。</p>
国分菜穂子委員	<p>(3) 令和3年度における高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施（いきいき長寿保健事業）について ハイリスクアプローチについて継続的な支援を希望する。また、全体的な指導や相談内容などの詳細を知りたい。</p>
事務局回答	<p>ハイリスクアプローチでは、初回訪問と3箇月後の評価訪問で、次のアンケートやパンフレットを使い、指導・相談を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フレイルチェック（健康状態に関する質問票） ・食事バランス（10品目チェック）シート ・口腔機能チェック ・介護予防パンフレット <p>なお、評価訪問で、生活状態が心配な方には3回目の訪問を行っています。</p>
	<p>2 審議事項</p>
	<p>(1) 「人生会議」の普及啓発について</p>
	<p>【審議結果】</p>
	<p>承認する：30人 承認しない：0人</p>
	<p>【書面による意見等】</p>
篠崎浩之委員	<p>現在、3人の先生がACP普及啓発講師人材バンクに登録されているが、登録医数を増やし、様々な先生方の講演がなされるほうが良いのではないかと。先生方にも様々な意見があると思う。</p>
事務局回答	<p>令和4年度は、地域ブロンズ会議の仕組みを活用し、市民への更なる普及啓発を図るため、講演回数の増加を見込んでいます。</p> <p>市民に共通認識を持ってもらうため、講演内容を一定程度標準化することは必要であると考えますが、一方で、先生方がそれぞれ経験されてきた医療やケアを踏まえた内容としていただくことで、「人生会議」の取組をより身近に感じていただけるものと考えています。</p>

石川雄一委員	<p>また、登録医師の負担軽減の観点からも、ACP普及啓発講師人材バンクの登録にご協力を賜りたいと存じます。</p>
事務局回答	<p>ACP普及啓発講師人材バンク登録制度については、登録医師の負担を考慮し、人数、回数などを十分に検討した上で実施をすることが必要であると思われる。</p>
中村未央委員	<p>令和4年度の講演回数は、最大6回程度を見込んでいますが、ご協力いただける登録医師の人数や業務の状況等を考慮した上で、北埼玉在宅医療連携室と連携し、講演の回数や日程を決定してまいります。</p>
事務局回答	<p>ご本人、ご家族ともに後悔しないように活用をしたほうが良いと思う。</p>
事務局回答	<p>人生の最終段階に向けて、本人が自分の意思を家族等と共有できる場を少しずつ増やし、最終的に家族等が本人の意思を尊重した意思決定をすることができるよう、地域において「人生会議」の普及啓発を進めてまいります。</p>
尾高幸江委員	<p>(2) 地域における「看取り」の実施状況等の把握について</p> <p>【審議結果】</p> <p>承認する：30人 承認しない：0人</p> <p>【書面による意見等】</p> <p>家族に看取られるのが理想だが、家族への様々な援助が必要だと思っている。在宅での看取りを行うための問題点等を前もって知っておいたほうが良いと思うので、関係の情報が得られる機会があったらいいと思う。</p>
事務局回答	<p>在宅での看取りについての知識や課題等を市民に知ってもらうため、令和4年度以降の取組の一つとして、在宅での看取りに携わっている医師を講師として、市民に対する講演会の開催を検討してまいります。</p>
太野貴宏委員	<p>看取りの実施状況等のアンケート調査の対象者の範囲について、「介護施設等」においては、要介護認定を受けている方が中心になると思うが、要介護認定を受けていない方へのアンケート収集については、必要性が少ないため（実際、看取り期の方は、要介護認定を受けている方が多いと思われる。）、範囲外としているのか。一般高齢者へのアンケート収集を行う場合は、高齢者相談センターにも声をかけていただければ協力したい。</p>
事務局回答	<p>今回の看取りの実施状況等のアンケート調査は、高齢者等の市民を対象とするものではなく、地域の医療機関や介護施設・事業所を対象に、看取りの実施体制や実施状況を把握し、課題の整理をすることを目的として行う予定です。</p>
	<p>高齢者等の市民からの情報収集については、日頃の総合相談支援業務</p>

中村未央委員
事務局回答

の中でご協力いただきたいと思いますと考えています。

今後、普及がとても必要な取組だと思ふ。

在宅での看取りを実現するためには、今回のアンケート調査等を活用した医療・介護関係者の皆様からの現状把握のほか、市民が在宅での看取りについて認識し、正しく理解していただくことも重要であると考えます。このため、「人生会議」の取組のほか、在宅看取りに関する講演会の開催等を通じて、市民に対する普及啓発を行ってまいります。

会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名します。

令和4年4月19日

署名 _____